

2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

<学校用>

校番(56)番 福山市立久松台小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	主体的に学ぶ力	表現力	他者とつながる力	社会や自然を大切にできる心
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	自ら進んで課題を発見し、問題解決しようとしている。	自分と友達の考えを比較し、共通点や相違点を見つけることを通して、根拠を明確にしながら自分の考えを友達に伝え、よりよい考えを生み出す。	友達の意図を汲んで自分の考えを伝える。	身近な社会や自然に進んで関わり、自分とのつながりを大切にする。

2 授業の現状

- ・基礎的・基本的な知識・技能は概ね定着している。
- ・自ら課題を発見し、問題解決をしようとする意欲に課題がある。

転換

3 めざす授業の姿

- ・子ども達が主体的に関わり合っており、学び合っている姿のある授業

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> ○発問と教材の工夫をし、授業のふり返しをする。 ○教師は話しすぎず、子どものつぶやきに耳を傾け、切り返すポイントを逃さない。 ○児童の反応から授業について振り返る校内研修を実施する。(初任研の参観授業の機会を校内研修に位置づけて) 	<ul style="list-style-type: none"> ○学びに向かいやすくなる教材作りについて、校内研修を実施することができた。 ○教師は話しすぎず、子どものつぶやきに耳を傾けよう意識することができた。 ○校内研修を通して、本時や題材で目指す児童の姿を明確にもって授業する重要性を再確認することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○考えを深めたり再構築したりするきっかけになる発問についての校内研修を実施する。 ○子どものつぶやきの共通点や相違点を考えながら授業を実施する。 ○引き続き児童の反応から授業について振り返る校内研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師はファシリテーターの役割を意識して授業展開することを、校内研修や県大会を通して共有することができた。 ○子どものつぶやきの共通点や相違点を考えながら授業実践しよう意識することができた。 ○校内研修や県大会を通して、児童の反応から本時や次時以降の授業展開を柔軟に変える姿が見られるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の反応から授業について振り返るとともに、ファシリテーターの役割についての校内研修を実施する。 ○子どものつぶやきの共通点や相違点を考えながら授業を実践する。 ○高学年の体育において、異学年での学び合いの授業を実施する。 	

5 取組の結果等

数値は2019年(H31年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%) (肯定的評価) 体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

問題	全国学力・学習状況調査(%)	(児童生徒質問紙調査)(%)	(肯定的評価)
国語	71.0(+5.0)	自分にはよいところがある	81.3
算数	73.0(+5.0)	先生はよいところを認めてくれる	91.6
		将来の夢や目標を持っている	83.3
	()は県平均との差	人の役に立つ人間になりたい	100.0

「基礎・基本」定着状況調査 (児童生徒質問紙調査)(%) (肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	100.0
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	87.7
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	84.7
授業では、友達と話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	89.3

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (12)月末現在

暴力行為	0	不登校	0
------	---	-----	---

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 27/48	<ul style="list-style-type: none"> ○96項目中65項目が県平均かつ全国平均を上回っている。 ○ボール投げ・50m走・握力では、昨年度に比べ、県平均かつ全国平均を上回る学年が増えた。しかし、依然として重点課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ボール投げ・50m走・握力で、県平均かつ全国平均を下回る学年が多く、重点課題である。 ○総合評価のED率が18.8%であり、運動の機会を増やしたり、運動が苦手な児童への支援を行ったりすることが重点課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○常設の柔らかボール・50mコース・握力グリップを活用し、体育科の導入時にサーキットトレーニング等を取り入れ、継続的に運動に取り組めるようにする。 ○毎月、重点的に取り組む運動を設定し、家庭学習で取り組むことができるようにする。 ○レク委員会を中心に、学校全体で外遊びの機会を増やす。
(女子) 38/48			

目標値	<ul style="list-style-type: none"> ○ボール投げについては、1人1mずつ記録を伸ばす。 ○50m走については、1人0.2秒記録を伸ばす。 ○握力については、1人1kgずつ記録を伸ばす。 ○総合評価のED率を15%未満にする。
-----	---

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	61.5	0
仕事に充実感がある	30.8	0

児童生徒アンケート(%) (12)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	83.3	16.2
自分の考えは、認められている	79.7	20.3